



大和ハウス工業株式会社  
代表取締役社長 大野直竹  
大阪市北区梅田 3-3-5

## 住宅業界初 「ECO サポーターによる事業所での環境活動」が 「環境 人づくり企業大賞 2015」において「優秀賞」を受賞

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大野直竹）は、全事業で取り組む「ECO サポーターによる事業所での環境活動」が評価され、「環境 人づくり企業大賞 2015」※1の「優秀賞」を受賞しました。本受賞は、住宅業界において初めてとなります。

※1.環境省と環境人材育成コンソーシアムが 2014 年度に創設した、自社社員を対象とした優良な取り組みを行う企業を表彰する制度。地球環境と調和した企業経営を実現し、環境保全や社会経済のグリーン化を牽引する人材「環境人材」の育成推進を目的とする。

■環境 人づくり企業大賞 2015 サイト：<http://www.eco-lead.jp/commendation/award2015/>



【表彰式のようす】



【ECO サポーター研修】

### ■「ECO サポーターによる事業所での環境活動」について

当社は 2013 年 7 月、環境経営の基盤強化として全従業員の環境経営への参画意識の向上を図るため、自律的な環境活動を推進した事業所を表彰する制度を創設しました。

また、各事業所に環境活動の推進リーダー「ECO サポーター」を任命し、環境行動計画の作成や改善、事業所の従業員へ課題・対策のフィードバックを行うことで、各事業所の環境活動を活性化しています。

さらに、2014 年度より、「ECO サポーター」に対して、事業所毎の環境活動の課題・対策を共有する研修を年 2 回実施しているほか、「eco 検定」※2や「家庭の省エネエキスパート検定」※3等の資格取得を推奨。また、優秀事例を積極的に全社員に紹介し、水平展開に努めています。

こうした「ECO サポーター」による各事業所での自発的な環境活動が高く評価されました。

今後も当社は、本取り組みを継続して行い、さらに質の高い環境活動を行います。

※2.多様化する環境問題に対して総合的な基礎知識をバランス良く身につける、東京商工会議所による検定試験。

※3.「家庭の省エネ・節電」を日常生活や企業等の活動において進めることのできる人材の発掘・育成を狙いと  
した一般財団法人省エネルギーセンターによる検定試験。

## ●審査委員会からの講評

2014 年度からの実施であり、まだ取組開始から日が浅いが、全国 94 箇所ある事業所で任命された ECO サポーターが中心となった、しっかりとした環境活動の体制を構築しており、全社的な取組となっている点は大いに評価できる。

具体的には、本社・本部が主導で行っている環境行動計画を受けて、ECO サポーター自らが事業所にあった「事業所 ECO プラン」の作成、取りまとめを実施している。また、環境活動の推進のために適切な環境活動評価「あなたの事業所の ECO 診断」の実施や、取り組んだ活動を本社・本部が発信する社内報「ECO プレス」への投稿も行っている。

ECO サポーターは、本社・本部からの指示をそのまま受け止めるのではなく、各事業所にあった環境活動を自ら考え、実施し、評価までを行っている。このしっかりとした PDCA に基づく取組を通して、主体的に行動する環境人材の育成につなげている点が非常に高く評価できる。

今後は、各事業所の取組に社員の家族や地域社会の方々等、社外を巻き込むことで、事業所ごとの独自性が生まれるとともに、より社会的に広がりのある取組へと発展していくのではないだろうか。取組の継続的な実施と、さらなる改善に大いに期待したい。

### 【 未来を、つなごう We Build ECO 】



私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

【関連情報】 > [大和ハウスの環境への取り組み](#)

以 上

お問い合わせ先		
広報企画室	広報グループ	06 (6342) 1381
	東京広報グループ	03 (5214) 2112